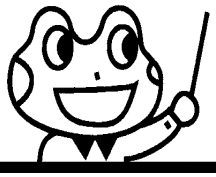
資料番号1515



三角州はどうやってできるの

●川の河口に土砂が積もってできる三角州

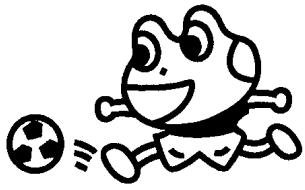
三角州とは、川の上流から運ばれてきた土砂が河口にたまってできた、三角形の地形をいいます。その形がギリシャ文字のデルタ（⊿）に似ているので、デルタともいいます。

川は、上流から下流に向かって流れるとき、土砂をいっしょに運んできます。川は砂やどろの運び屋さんです。山岳地帯を流れたのち、急に開けた平地に出ると、上流から運んできた土砂を落とします。この土砂が積もると、扇の形のように広がった地形ができます。これを扇状地といいます。扇状地には砂や石ころのうち、大きめのものが積もります。

扇状地から流れ出た川は、ふつう平地をゆっくりと流れ、やがて河口につき、海に流れこみます。河口付近についた川はスピードがおとろえるので、運んできた土砂は川底にしずんでしまい、河口付近にどんどんと積もり、やがて新しい地形をつくります。これが三角州です。海に流れこむ河口だけでなく、湖に流れこむ所にも三角州がつくられます。

●高度が低く、湿った土地の三角州

三角州のある土地は、高度が低く、土地は湿っています。三角州を流れる川は、いくつもの川に分かれたり、くねくねと曲がって流れています。洪水がおこると、川ははんらんし、三角州は水びたしになったりします。しかし、土地は肥えており、農業をするのに適しています。（監修・ 保岡　孝之）



無断複製：転載：翻訳を禁ず Gakken